多賀中学校だより

令和７年２月２８日
第11号
校長　山本　順

学校教育目標　豊かな人間性を持ち、たくましく生き抜く力をそなえた生徒の育成
～ひとすじに学び、たくましく鍛え、すこやかに励む～

校訓　醇厚（じゅんこう）　剛健（ごうけん）　叡智（えいち）　不屈（ふくつ）

1年の自身を振り返って

さて２月もそろそろ月末。３月に入れば、卒業式や県立高校の入試や発表。慌ただしく３月は過ぎていきます。それぞれが新しく進学し、進級します。最近、ふと見たドラマで学校の先生が「考えて」という言葉を生徒に何度も問いかけているシーンを見ました。そういえば何かの本で読んだことがあります。「自分で物事を考えられなくなった人間には共通する特徴があります。上手くいかなくなると「人のせい」にします。こういう人は他者に対する優しさもありません。」というもの。ドキッとしました。君たちには何事も「考える」ということをして欲しいと思います。何を考えるのか？根拠、別の見方、最悪の結果、効果などです。思いついたら即行動も時には大切ですが、必ず考えてから、そして議論してください。議論について付け加えると議論は「考え方の対立」でなくてはなりません。得てして「感情的な対立」になってしまします。互いの妥協点、着地点を探すのが議論です。１年を振り返り、自ら考え、友達と議論しましたか？そして自分と違う友達の意見を聞き、享受しましたか。これが新たな「学び」です。是非中学校生活の中で、クラスメイトと議論してください。残り少ない令和６年度を大切に、有意義に過ごして下さい。

3/5（水）県立高校一般選抜検査
6（木）県立高校一般選抜検査（実技）
生徒会専門委員会
10（月）卒業式前日準備
11（火）第57回卒業証書授与式　9:00～
12（水）県立高校入学許可予定者発表
13（木）２年生がん教育
18（火）県立高校一般２次選抜検査
19（水）～21（金）
1･2年生希望三者懇談
24（月）修了式

令和７年度　ＰＴＡ本部役員決定

会　長	○○	○○	さん
副会長	○○	○○	さん
副会長	○○	○○	さん
副会長（母親代表）	○○	○○	さん
生活指導部長	○○	○○	さん
環境整備部長	○○	○○	さん
広報部長	○○	○○	さん
会　計	○○	○○	さん
会計監査	○○	○○	さん
会計監査	○○	○○	さん

他、字委員、地区委員をお引き受けいただいた方にも感謝申し上げます。
１年間どうぞよろしくお願いいたします。
また、１年間様々な行事、作業でお世話になりました令和６年度本部役員、字委員、地区委員、学級委員の方々はじめＰＴＡ会員の皆様、ありがとうございました。令和７年度もよろしくお願いいたします。

校長室より

君たちは、この1年何冊の本を読みましたか？「「若者の本離れ」といわれ出して、もう何年も経ちます。スマホやタブレットの普及により、YOU TUBEやTikTokを多く利用するようになり、簡単に動画やほしい情報が手に入ります。教育でも生徒1人1台タブレットの推進により、大きく授業形態も変化しました。デジタル教科書が導入され、容易に拡大できることや保存ができること、機械音声で読み上げる、ルビを振る、アニメーションで提示すること等多くのメリットがあります。学校でも、従来の紙の教科書とデジタル教科書をうまく活用しながら、学習効果を上げる工夫を目指しています。デジタルに対応できないと生きにくい世の中で、学校の役割として使いこなせる若者を育成することは当然のことだと思います。しかしながら、校長先生がいつも言っている、「本を読みなさい」「旅をしなさい」「人と会いなさい」を行うとき、誰でもそれまでの情報のインプットがどれだけ自分に蓄積されているかによって質と効率が変わってくると思っています。
「本を読む」ことの本来の意義は「情報の伝達」です。本をおすすめする理由をもう少しお伝えしたいと思います。
「本を読む理由」1つ目は、先人の知恵や知識や教養が身につくことです。
「本を読む理由」2つ目は、語彙力（使える言葉の量）が向上することです。
「本を読む理由」3つ目は、必要でないこともインプットしてしまうが、役に立つ。
※デジタル検索は興味あることのみなので拡がらない。
「本を読む理由」4つ目は、他人の失敗から学び、成功の確率を上げられることです。
「本を読む理由」5つ目は、想像力アップにつながることです。
「本を読む理由」6つ目は、わくわく感などでストレス発散になることです。
※韃靼そば茶を飲みながら読書。至福の時間です。
「本を読む理由」7つ目は、悩みや課題を解決するヒントが得られることです。
切りが無いので7つにしておきますが他にもいろいろ考えられます。いやなことを忘れられる、逃げられる、話のネタになる、コミュニケーションのきっかけ、勉強のやる気アップにつながる、コミュニケーション力が上がる、仕事力向上につながる、文章力の向上が期待できる、効率的に情報収集、いろいろな価値観を知り、視野が広がる･･･。
最近では、漫画を読めない若者が増えていると聞きます。少年ジャンプやマガジン、サンデー、チャンピオン、マーガレットやりぼんを知らないんだと愕然としました。絵があるので大きく想像力を制限されますが、漫画も立派な本だと思っています。
君たちは朝読書で朝の会で本を読みます。図書室もほぼ毎日開けてもらっています。まずは、図書室へ行ってみてください。手に取ってみてください。立ち読みしてください。「おもしろそう」という本を手に取ってみてください。推しの本は、古典です。例えば十返舎一九著「東海道中膝栗毛」。なにせ江戸時代のベストセラー（一番読まれた本）です。また、福沢諭吉の「学問のすすめ」は、明治時代のベストセラーです。各時代のベストセラーを読むのも楽しいんではないでしょうか。
「今日の読書こそ、真の学問である」吉田松陰の言葉です。短い時間でもいいから、毎日の読書こそが、あなたの知識や考え方の基礎となり、成長させるという意味です。
君たちには、他のことが手に着かなくなるくらい、面白い本に早く出会ってほしいと思います。